



# 町政懇談会終了

## 住んでいて良かったと思えるまちへ

**12** 自治会で開催した町政懇談会は、町政運営に町民の皆さまの意見を反映することを目的に毎年開催しています。

今年は8月2日から19日までの期間で開催し、170名の方に出席していただきました。

懇談会では、地域の課題や町への要望、大雨被害への対応についてなど、多くのご意見・ご要望をいただきましたが、この誌面では、特に全町に共通するもののみ紹介します。

(Qは問、Aは回答説明です)

**Q** 介護従事者の家賃や資格取得費用の助成ができたが、すでに町内で働いている方の処遇改善も検討をお願いしたい。地元で必要な介護が受けられなければ、他自治体に人口が流出してしまう。

**A** 現状で全てだとは思っていません。介護従事者の確保や、高齢者が住み続けていけるよう、さまざまな場面で意見交換をしていきたいと考えています。

**Q** 自分も将来介護のお世話になるかもしれない。  
特別養護老人ホームとグループホームの料金がかなり違うので、町の補助等で公平感を出せないか。

**A** 国の制度ではそれぞれ単価が決まっており、確かにグループホームの方が高くなっています。

町では要介護状態にならないよう、サロン活動を推進しており、地域で住み続けられるような施策を実施していきたいと考えています。

また、芳生苑は昭和51年に建築してから40年、改修しながら使用していますが、4人部屋というのも料金が安い原因の一つです。今の制度で建て替えをする個室にしなければならず、そうなるグループホームより料金が高くなる可能性もあり、町民の皆さまや議会と相談して良い方法を考えていきたいと思えます。

**Q** 町民大運動会について、若い人がいないのでいろいろな種目に出られない。今のやり方ですらまで続けられるのか、考えていかなければならないと思うが。

**A** 年に一度の町民が集まる場をまったく無くしてしまうよりは、どうしたら続けられるのかを考えた方が良いという意見や、50代以下がおらず暗夜の一刀にしか出られないという意見をいただいています。

来年度以降どのようにするべきかしっかりと検討させていただきたいと考えています。

**Q** 農業委員の定数は何人にするのか。また、議会の同意を得ることで農業委員会の独立性が損なわれないか心配。農地に関わることで選考方法について慎重に検討して欲しい。

**A** 現在の農業委員の任期が来年の7月19日までですので、来年3月の定例会で条例改正するよう、これから定数を検討していきます。

また、これまで選挙によって選出されていたものが、町長が推薦して議会の同意をいただく形になりますので、首長の責任も重くなります。

地域が偏らないように等、どういう選考方法が良いか、現農業委員の皆さまとも十分に相談しながら進めていきたいと考えています。



年に一度の町民大運動会

**Q** ペンケペオツベ川の改修について、本当に強く要望してほしい。剣淵町長と連携して要望したとのことだが、具体的には。

**A** 8月5日に、剣淵町長と旭川建設管理部士別出張所に出向き、降雨量などのデータや、現場の写真等を2町で集めて提出してきました。これまでも毎年土砂上げなどの要望を出してきましたが、今回は通行止めになる程の大きな被害があったことを踏まえて、改修要望という形で強く要望しています。

**Q** 小学生が大変元気にあいさつしてくれるので感激している。良いことなので、ぜひ子どもたちを誉めてあげてほしい。

**A** 小学生も素晴らしいですが、中学生も思春期で難しい時期にも関わらず、とても元気にあいさつをしてくれます。各学校にも町民の方からそういった言葉をいただいたと伝えていきます。ありがとうございます。

**Q** 臨時福祉給付金の案内を全世帯に送るといことだが、役場内で連携すれば対象者だけに送ることができるのでは。

**A** 町職員であっても個人の所得状況を勝手に把握することは

できません。国の制度のシステム上、このような形でやらざるを得ない状況ですので、ご理解ください。

**Q** 禁煙治療費の一部助成があるが、たばこを吸うことは自己責任なので、助成金は必要ないと思うが。

**A** 受動喫煙の防止や、たばこの健康被害による医療費を抑制するために、また、喫煙者にも他者への影響を考えていただくきっかけとして実施したいと考えています。

**Q** 学童保育について、昨年お迎えの時間を延長し、保護者が整っていないのはなぜか。

**A** 子育て支援センター「こども館」は、正職員1名、臨時職員2名、パート1名、ボランティアの方で運営しており、5月から10月は月2回、土曜日も開設し、今の体制でできる限りの運営をしているところです。今は資格が無ければ運営できず、有資格者の確保ができれば土曜日の開設も増やしていける可能性があります。現在はこのような状況です。

子育て環境の整備は、人口減少問題にも直結する話ですので、できることから努力していきたいと考えて

ています。

**Q** 議会広報に「教育日本一へのビジョンを具体的に作る考えはない」と掲載されていたが、どういう意味か。

**A** 日本一というものは他人が評価するもので、ものさしが無いものです。先生方が和寒町で教育したいと思える環境を作っていくことの積み重ねが必要だと思っておりますので、行政がしっかりと支えていきたいと考えています。公約で日本一を3つ掲げていますが、こうしたら日本一になるというものは持っていません。国際交流や社会人の学習などを含めて、教育というものは子どもたちの部分だけではありません。しかし、高校が無くなった和寒町では、必ず町外に通わなければならないので、親の収入で教育格差を作らないようにしたいと思っています。めざすところは高く、いろいろな方々の意見を聞きながら、自分も学びながら進めていきます。

昨年は、学力日本一になった秋田県に教職員に視察に行っていたきました。参考になった取り組みを和寒町でも実践してもらいたいと思っています。

議会広報に掲載された内容について

では、議会の中ですべての思いを話す時間が無かった部分もあり、もう少し丁寧な話せば良かったと反省しています。目標を変えているわけではありません。様々な角度で取り組んで行きたいと思っています。

**Q** 8月17日の大雨災害で約40年ぶりに避難準備の放送があった。一人暮らしの高齢者も多いが、夜遅くに対応できるか。シミュレーション等が必要ではないか。

**A** 昨年は仲町自治会の協力を得て避難訓練を行いました。いつ災害が起きるかわからない状況で、自治会で対応しきれない部分や、役場や消防の対応、訓練の方法がどういものが良いのか等を点検して、検討していきたいと思っています。

このほか、まちづくりのアイデアや行政に対するご意見・ご要望、地域の困りごとなどが寄せられました。急を要するものや後日確認が必要になるものについては、自治会の皆さんや関係機関と協議し、処理状況に関係者や各自治会にお知らせすることとします。  
町政懇談会に関するお問い合わせは、総務課情報管理係（TEL 32-2421）までご連絡ください。